

特別養護老人ホーム 幸豊ハイツ

平成21年度ユニットリーダー実地研修終了

幸豊ハイツは全国で49施設、北海道では5施設しか指定を受けていないユニットリーダー研修の実地研修施設の1施設として認知症研究・研修東京センターより指定を受けています。

毎年全国から多くの実習生が5日間の実地研修に来ますが、本年度も前期9月21日～10月23日までの5週にわたって20名、後期11月9日～12月11日の5週にわたって20名、合計40名の実習生が全国より来られて新館ユニットで実習されました。

実習は、スタッフと利用者との関わりの中で食事・排泄・入浴等のケアをどのように個別に行っているのか。いかに個人の想いや好みを尊重したケアを行っているのか。また、システムや環境からの視点で個別ケアをどのように実践しているのか等を利用者の目線でユニットに入り体験し学んでいただくプログラムとなっています。実際に現場に入ることによってスタッフの生の声を聴くことができ、行事を見ることができるのがこの研修の大きな特徴となっており、それぞれの実習生が研修で学んだ事を施設に持ち帰り実践することとなっています。



また、各週で実習生と職員との食事会を実施して交流を深めました。食事会は、和気あいあいとした雰囲気の中でユニットケアの話はもちろん、個々の実習生の悩みや課題等の意見交換などもあり実習生同士、実習生とハイツの繋がりがより深められました。

実習生から最初のうちは、実習に来る前は5日間も何もしないで居るなんて意味があるのだろうか？暇になってしまうのでは？とい

う声が多く聞かれますが、実習が終了してから感想を聞くと、ほとんどの実習生が口を揃えて言うのは、休んでいる暇はなく、自分の施設での課題や今後の取り組みの糸口を見いだせるためにあっという間に過ぎてしまった。時間が足りなかったという感想でした。

こういった声に身を引き締め、これからもそんな実習生の受け皿として努力をして、実習生のみなさんにとって有意義な研修を進めていきます。

写真はご本人の同意を得て掲載しております

